

船橋 YMCA 通信



No.33 2006年11月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



チャリティーラン開催

第9回千葉YMCAチャリティーランは、28チームが参加し、10月21日(土)に夏見台にある船橋市運動公園の特設コースで開催されました。

今年の大会は、参加者が500名を超える盛況で、天候にも恵まれ陽射しのもとでは汗ばむ陽気でした。



《駅伝のスタートです》

今回は、日程が横浜YMCAのチャリティーランと重なり、オフィシャルスポンサーのシティグループのゴールアーチはありませんでしたが、車椅子のチームが4チーム参加して陸上競技場のトラックは賑やかになりました。



《車椅子チームの参加が増えました》

一昨年のチャリティーランがきっかけとなり、船橋市内の小学校で車椅子体験教室が催されるようになり、今回は体験教室に参加した2校の小学校の4名の選手が車椅子で出場してくれました。これらの小学生は、車椅子に乗り400mのトラックを一人2周しましたが、さすがに大変だったようでした。

今大会でも、障がい者施設のジョギングクラブの代走チームや船橋市役所の職員の代走チーム、更には船橋市立船橋中学校の陸上部の代走チームが参加し、参加型イベントとしての運動の幅が一層広がりました。



《抜群の速さで順位賞の金メダルを獲得した船橋市立船橋中学校陸上部Bチームのみなさん》

駅伝終了後は、抽選会をビンゴゲームで行い、ビンゴのあと更にくじ引きで賞品を引き当てるやり方で、大いに盛り上がりました。

お礼と今後のサポートのお願い

今回のチャリティーランへ参加いただいた方々に感謝申し上げるとともに、来年以降も引き続きご支援をよろしく願いいたします。

また、協賛フリーマーケットも開催され25のお

店から各店 500 円の協賛金をいただきました。今回の大会の益金は次号で報告いたします。



《最後にみんなでチクサクをやりました》

秋のわいわいフェスティバル

千葉県長生郡長柄町にある千葉市少年自然の家で、10月29日(日)に少年自然の家の収穫祭が『秋のわいわいフェスティバル』の名のもとに行われました。



《餅つき、ぺったん！ぺったん！》

当日の午前中は雨のあいにくの天気でしたが、午後には天候も回復して、参加した子どもたちは、ザリガ二釣りや紙すき体験を楽しんでいました。



《田んぼでの泥んこレース》

今回の参加者は、主催者側発表で 800 名を越え

たそうで、ボランティアの協力者も 130 名以上あり、去年よりにぎやかになりました。



《城北流艶太鼓のパフォーマンス》

船橋 Y M C A 活動記録

船橋 Y M C A の 9 月、10 月の活動記録です。

- ・ 9月2日(土) そらまめクラブ「あおぞら」
作品：楽しい音の？おもしろい形の？楽器を作ろう！
参加人数：6名
- ・ 9月13日(水) チャリティーラン事務局会議
- ・ 9月16日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・ 9月16日(土) 船橋地域デポ運営委員会
- ・ 9月17日(日) わんぱくクラブ9月例会
内容：共有をテーマにフルーツポンチを作ろう！お店でのマナーを考えてから、予算内での買い物を経験する。
参加人数：8名
- ・ 10月4日(水) チャリティーラン事務局会議
- ・ 10月7日(土) そらまめクラブ「あおぞら」
作品：万華鏡を作ろう
参加人数：5名
- ・ 10月14日(土) チャリティーラン実行委員会
- ・ 10月15日(日) わんぱくクラブ10月例会
内容：鋸山に登ろう
参加人数：9名
- ・ 10月21日(土) 第9回チャリティーラン
- ・ 10月29日(日) 千葉市少年自然の家 秋のわいわいフェスティバル

編集後記

今年のチャリティーランは、地元船橋市の小中学生の参加が増えて、過去で一・二番を競う盛り上がりでした。ご協力いただいたみなさまに感謝いたします。(横)